



**警告：あなたは
「コピペ行員」に
なっていないか？**

AIを「魔法」と勘違いする男と、
「相棒」にする男の境界線。



翔太 (24)

【思考の停止】
AIの回答を鵜呑みにし、「コピペさえすれば仕事が終わった」と思い込む。
本来行うべき「分析」や「検証」を放棄。

よし、コピペ完了！
これで仕事終わり！



——コピペ行員の誕生である。





【戦略的活用】 浮いた時間を顧客との対話や戦略立案に充てる。



【再編集】 内容への深い知見と理解に基づき、上司の好む「伝わる資料」へと構成を整える。



【専門知見による検証】 ハルシネーションを瞬時に見抜く。



【責任感の欠如】

「AIが言ったことだから」という他責の念。
自分の書類に対する責任感の消滅。



【構成の不備】



【表現の不適切さ】

【表現の不適切さ】



自分の頭で考えていないため、些細な質問にも答えられない。



...で、結局この市場予測の数字の根拠は何なんだ？



はい。
AIのドラフトを
当行の独自データを
掛け合わせて
調整しました。

ドラフトを
ベースに、



健太、こっちの資料は
完璧だ。
最新の動向も
よく分析できている。

ビジネススキルのある人 (AIを真の相棒にする人)

アウトプット
【時短】 × 【高品質】

- 表現力で伝わる資料に再編集できる
- 浮いた時間を顧客と対話や戦略立案に充てる



信頼と評価の向上

スキル有無の境界線

ビジネススキルの乏しい人 (コピペ行員の畏)

アウトプット
【低品質】 × 【無責任】

- AIの生成文を繋ぎ合わせただけの読みにくい資料
- 誤情報や一般論をそのまま提出



銀行員としての信頼失墜

人を育てずして、AIの成功なし

finet

ツールに振り回される コピペ行員 を防ぎ
AIを戦略的に使いこなす次世代の
プロフェッショナルへ。

フィネットの研修プログラムは、
AI時代にこそ不可欠となる

「自ら考え、検証し、伝える」
強固なビジネススキルを育成します。



人材育成で解決できます。

フィネットの研修でビジネススキルを身につけ

AI活用を成功に導きましょう。